

芸大コレクション展「柴田是真 - 明治宮殿の天井画と写生帖 - 」

会 場：東京藝術大学大学美術館（〒110-8714 東京都台東区上野公園 12-8）

会 期：2005年6月11日（土）～8月7日（日）50日間

開館時間：10：00～17：00（入館は16：30まで）

休 館 日：月曜日（ただし7月18日は開館、19日は休館）

料 金：一般 300（250）円 大学・高校生 100（50）円（中学生以下は無料）

*（ ）内は20名以上の団体料金（団体観覧者20名につき1名の引率者は無料）

*障害者とその介護者各1名は無料

*「植物画世界の至宝展」（6月11日～7月18日）をご覧のお客様は無料でご覧頂けます。

主 催：東京藝術大学

問い合わせ：03-5777-8600（ハローダイヤル）

ホームページ：<http://www.geidai.ac.jp/museum/>

交 通 案 内：JR 上野駅公園口、東京メトロ千代田線根津駅より徒歩10分。

京成上野駅、東京メトロ銀座線・日比谷線上野駅より徒歩15分。

【展覧会概要】

東京藝術大学大学美術館には完成された美術作品の点数よりも、教育資料として収集された下絵、写生帖などが数多く保管されています。下絵や写生といえども、歴史的にその価値が重要な資料も多く、今回の展覧会に出品する予定の柴田是真の下絵・写生帖もその貴重な資料の一群といえましょう。

柴田是真は文化4（1807）年に江戸両国に生まれ、^{まるやましじょうは}円山四条派直系の絵師および江戸蒔絵を継承する^{まきえし}蒔絵師として、幕末から明治前半に活躍し、初代帝室技芸員のひとりとして明治24（1891）年に世を去った、19世紀日本美術を代表する逸材のひとりです。しかし、その作品の大半が焼失あるいは海外に流出してしまったために、これまで一般にはあまり知られていませんでした。

東京藝術大学は昭和50（1975）年に、柴田是真の三男^{うめざわりゅうしん}梅沢隆真の次女梅沢妙氏から、震災や戦災を越えて大切に守ってこられた柴田是真の下絵と写生帖を譲り受けました。現在は、東京藝術大学大学美術館が所蔵する柴田是真の資料は、明治宮殿^{ちくさのま}千種之間天井画下絵112枚、^{つねごてんすぎとえ}常御殿杉戸絵下絵10枚、写生帖95冊などで、是真の芸術を凝縮させたような質の高い貴重なコレクションです。とりわけ鋭い観察眼に裏付けられて、流麗にして確実な線で精緻に描かれた植物表現は、大作品におとらない第一級の芸術作品として十分に觀賞に値し、さらに、現代の様々なデザインの参考資料にもなりうる魅力を持っています。

明治宮殿が昭和20年に戦火によって焼失してしまったため、千種之間の壮麗な天井はモノクロ写真およびこの下絵類でしか確認できません。このたびは、宮内庁の御協力のもと、明治宮殿の内部写真および実際の下図を題材にして、この見事な天井画の色彩および文様の再現をコンピュータグラフィックスで試み、現物の下絵も合わせて展示します。さらに、是真の芸術の真髄である卓越した筆遣いを見せる写生帖も展示します。

【主な出品作品】

明治宮殿千種之間天井画下絵（112 枚のうち）

常御殿杉戸絵下絵

写生帖（95 冊のうち）

【貸し出し画像一覧・キャプション】



柴田是真「明治宮殿千種之間天井画下絵（杜若）」東京藝術大学大学美術館所蔵
柴田是真「明治宮殿千種之間天井画下絵（向日葵）」東京藝術大学大学美術館所蔵
柴田是真「明治宮殿千種之間天井画下絵（百合）」東京藝術大学大学美術館所蔵
柴田是真「写生帖（桜）」東京藝術大学大学美術館所蔵
柴田是真「写生帖（海老）」東京藝術大学大学美術館所蔵

展覧会についての問い合わせ、画像借用の申し込みは下記までお願い致します。

広報担当 須藤千佳

Tel: 03-5685-7744 Fax: 03-5685-7805 E-mail: sudo@off.geidai.ac.jp

展覧会担当 横溝廣子・薩摩雅登

Tel: 03-5685-7685 Fax: 03-5685-7692